

公益財団法人 山田淳一郎奨学金財団

公益財団法人山田淳一郎奨学金財団は、鹿児島県を心から愛する、そして、志ある若者を心から応援する山田淳一郎が2018年9月に設立しました。



財団創設者故山田淳一郎（左）と現代表理事増田慶作

若者よ 夢風呂敷を広げよう

若者よ夢を持とう。大きな夢を持とう。思い切り大きな夢風呂敷を広げよう。そしてその実現を目指して努力し、いつの日か夢を現実のものにしよう。

若者への応援歌

山田淳一郎は、会計事務所設立後三十数年間にわたり、毎月社員に対してメッセージを書き発信していました。いずれも、若者への応援であり、叱咤激励でした。

夢の無い人生は淋しい。夢を持とう、夢を語ろう。

若者には将来の夢を持ち語ってもらいたい。それも出来るだけ大きな夢が良い。どんなでかい夢を語っても良い、それは若者の特権なんだから。なのに、大きな夢を語る人が少ないと感じる。それどころか世間的には、大きな夢を語るのは如何なものか、謙虚にあるべきだ、それが人間として正しいあり方である、とする考え方が支配していると感じる。しかし、大きな夢も語れない若者に大きな事が出来たためしはないのではなからうか。即ち大きな夢を持ち、大きな夢を語り、それを実現せんと必死に頑張った者だけが大きな事を成し遂げてきたのではなからうか。100歩譲って、語らなかつたとしても大きな夢を持った少年少女がやがて事を成し遂げたのではなからうか。更に100歩譲って、謙虚なだけで夢を持たず、であるから夢を追いかけたことがない、そんな状態で大きなことを成し遂げた人はいないと言って間違いなからうか。

「理想を語る、夢を語る」

理想を持つ仲間が好きだ。理想を語る熱い仲間が好きだ。理想を追求し実現しようとする仲間が好きだ。理想を語れ、いつまでも語れ、例え青二才と言われようとも。

夢を持つ仲間は前向きで信頼できる。夢を語る仲間は頼りになり心強い。夢を追い求め実現しようとする仲間の目は輝き美しく気高い。夢を語れ、いつまでも語れ、青二才と言われる方がまともなだから。

理想や夢を語る人は純で志の高い人だ。理想や夢を語る人は熱く、自分に厳しく他人に優しい人だ。理想や夢を語る人は心が強く健康で、前向きな人だ。だから私は、理想や夢を求め語る青二才と共にありたい。

今の心掛けと今からの努力が、10年後の貴方を生む。楽しみだ

私も、貴方も、皆、今の假で良い、なんてことがあるだろうか、あつていいのだろうか。私は思う。そんなはずはない、と。不十分な今の自分、磨けば光る可能性を持った自分を磨かずに、今の假で良い、なんて甘やかしていいはずがない、勿体無い、と。磨けば光る自分を、時には厳しく、時には優しく、磨き続けることだ。親や神様の下さった自分という人間を可能性のある限り磨くことが自分を大切にすることである。厳しい言い方で申し訳ないけど、今の假の自分で良いなんて自己肯定することは墮落でしかない。

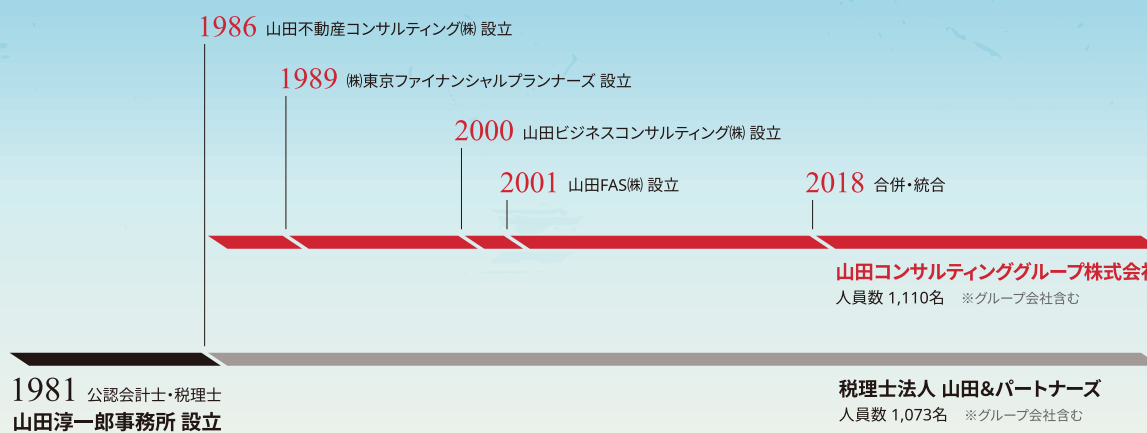
若者よ、自分を育てるのは結局は自分しかいないのだ

自分に課すハードルの高さは自分自身でいつでも、どの高さにも調整できるのだ。若者よ、そのことに一日も早く気付き、どういう人間になりたいか目標を決め、その目標に向かって自分を鍛え、自分を育てる努力を行って欲しい。さすれば自己成長する。これは間違いない。

「高い志ある鹿児島の若者へ」

山田淳一郎奨学金財団は今般7期生を迎えます。今年4月、2020年に奨学生となった2期生が卒業し、昨年卒業した1期生と合わせ、卒業生も26名になりました。「農業とITを掛け合わせた分野で活躍したいとエンジニアを目指す人」、「大学で身につけた英語力を活かしたいと外国籍の従業員が多い会社に就職したい人」、「大学で専攻した教育の分野で活躍したいと大学の事務職員として教育機関の基盤作り・学生支援を目指す人」、「司法試験を目指し勉強を続ける人」など、卒業生の夢も多岐にわたります。高い志・熱い夢を持ち、その実現に向け努力を続ける若者を、我々は全力で応援し、サポートを続けていきます。今後、奨学生同士・卒業生同士・奨学生と卒業生の交流のためのチームビルディングや、各人のキャリア支援のためのイベントも計画しています。縁あって集まった仲間たち。引き続き、皆さんとご縁を大切にしていきたいと思います。

公益財団法人山田淳一郎奨学金財団 代表理事 山田淳一郎 代表取締役 社長 増田慶作



※税理士法人は特別法上の法人であることから、各々の組織間に資本関係はありません。 ※人員数は2024年8月1日時点のものです。

公益財団法人山田淳一郎奨学金財団 財団案内

事業目的	山田淳一郎奨学金財団は、鹿児島県内の高等学校を卒業し、大学に進学する優秀な生徒に対して奨学金支援を行うことにより、社会の有用な人材を育成し、鹿児島県の教育水準の向上及び人材の育成に寄与することを目的としています。	設立	2018年9月25日	採用人数	30名(予定) ※補欠として数名の採用を予定しています。 ※補欠として採用された者は、内定者から辞退があった場合、及び内定取消者のあった場合に採用されます。
事業内容	奨学金の給付 (1) 給付金額…月額4万円、及び入学一時金30万円 (2) 給付の期間…4年間(大学1年生から4年生まで) ※但し、6年制(医学部・歯学部・獣医学部・薬学部)の場合は6年間とします。 (3) 給付の方法…毎月交付 ※奨学金は給付とし、原則として返済の義務はありません。 ※奨学生の卒業後の就職、その他一切については、本人の自由とします。	所在地	鹿児島県鹿児島市高麗町14番地1 税理士法人宇都宮会計内 公益財団法人山田淳一郎奨学金財団	採用実績	2019年4月入学生 20名 2020年4月入学生 14名 2021年4月入学生 17名 2022年4月入学生 15名 2023年4月入学生 32名
創設者	山田 淳一郎 (1947年9月生～2019年12月没) 鹿児島県 旧 国分市上小川(現 霧島市)出身 鹿児島県立鶴丸高等学校卒 中央大学商学部卒 公認会計士・税理士 税理士法人山田&パートナーズ 創業者 山田コンサルティンググループ株式会社 創業者	応募資格	当財団の奨学生となる者は、以下の全てに該当する者とします。 (1) 当財団の指定する高等学校に在籍する者 (2) 向学心が高い者 (3) 校長先生が推薦する者 (4) 経済的に裕福とは言い難い者 ※指定高等学校は、鹿児島県内の高等学校のうち当財団の選考委員会で選定された15校です。 ※指定高等学校は、3年ごとに見直しを行います ※各指定高等学校からの推薦者は複数名(4～5名)とします。 ※当財団に直接応募することは出来ません。 ※他の奨学金制度を利用する予定の者であっても、応募資格を有するものとします。	奨学生の決定	奨学生の内定は、当財団の選考委員会の選考を経て代表理事が行い、その結果を本人、及び各指定高等学校に通知します。 内定者の採用は、実際の進学先を確認の上、最終決定いたします。(※) ※応募時に提出された志望校・志望動機と実際の進学先が著しく乖離している場合は、内定を取り消すことがあります。
				選考スケジュール	8月下旬 指定高等学校に対して募集要項を配布 10月末日 応募の締切 翌年1月上旬 選考結果の通知(内定の通知) 翌年3月下旬 採用決定の通知

https://yamadaj-zaidan.org/

